

こんにちは♪ これから1年を総括するランキングが次々と発表になりますね！ その一つとして、ほかのあらゆるランキングに先駆けて、『このライトノベルがすごい2025』のランキングが発表されました！ この本には、もっとも信頼できるその年のライトノベルのランキングが掲載されています。まず、本校で入荷しているラノベを見てみましょう！ 去年、前代未聞の5冠を達成した『お隣の天使様にいつの間にか駄目人間にされていた件』は、キャラクター女性部門で椎名真昼がまたも1位（なんと4冠！）、男性部門でも藤宮周が3位、文庫部門5位、イラストレーター部門2位でした。Web アンケート部門でも3位でした。最近入荷した『時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん』は、女性部門で3位と5位にアーリャと周防有希が、男性部門2位で久世政近がランクインしています。文庫部門とイラストレーター部門でともに3位でした。さて、この2作品よりも今年読まれたラノベを今号では紹介します！

2024年ベストラノベ！

『負けヒロインが多すぎる！』（～7） 雨森たきび

略称<マケイン>！ 総合第1位を獲得したのはこの作品でした！ アニメも大好評でしたよね！ キャラクター男性部門でも温水和彦ぬくみずかずひこが1位で、イラストレーター部門でも1位だったのに、キャラクター女性部門だけ2位だったのが、「負けヒロイン」の八奈見杏菜やなみ あんならしくて絶妙でした w 「クラスの背景」を自認し、友だちがひとりもない温水は、一学期の期末試験の最終日の放課後、あえて学校から離れた隣のファミレスで、ドリンクバーと山盛りポテトを注文し、お気に入りのラノベの最新刊を読むという至福のパーティータイムを満喫していた。本を読み終えたと、何やらとなりが騒がしい。油断した。クラスメイトだ。温水は、ゆるふわカワイイ系の人気女子・八奈見がフラれる一部始終を目撃してしまう。さらには、去っていった彼が残していったストローをくわえるという、あまりに悲しい行為を。目が合った温水が誰にも言わないことを約束すると、彼女は怒濤の勢いで語り出した。「私をお嫁さんにするって言ってたのに、ひどくないかな？」 4・5歳のときの話でした。これをきっかけに彼女と交流を始めると、いつのまにか自分の周りが残念なマケイン（負けヒロイン）ばかりになっていることに気づく…。陽キャの三次元世界は、実はマケインばかりだったのか!?

『誰が勇者を殺したか』(～2) 駄犬

で、こちらが文庫部門で第2位！そして、総合新作部門で第1位に選ばれました！なんと新刊ライトノベルの販売数歴代第1位となり、2024年3月時点で単巻10万部、同年11月時点でシリーズ累計部数は20万部をそれぞれ突破しています。略称は**くだれゆう**。魔王によって世界の半分が制圧された世界に、予言者に導かれて「勇者」が現れた。勇者は魔王を倒すことを義務づけられ、それを成し遂げれば姫が嫁として与えられ、この国の次期国王となることができる。彼は姫に「王女様、約束します。僕は必ず魔王を倒します。でも、ここには戻りません。だから、貴方は好きな人と結婚してください」という言葉を残した。果たして4年後、勇者はその言葉通り魔王を打ち倒した。そして、帰らぬ人となってしまう。「なぜ、勇者は死んだのか？」パーティーを組んでいた剣聖・レオン、聖女・マリア、賢者・ソロン。誰もが勇者の死については口を濁した。勇者を殺したのは誰か？「人から『できるはずがない』『なれるわけがない』と言われるようなことに挑む。馬鹿にされても頑張る続ける。ほんの少しでいいから自分に期待する」。他のどの勇者よりも弱く、みっともない、泥にまみれた、しかし本物の勇者の物語。

『千歳くんはラムネ瓶のなか』(～9) ^{ちとせ}裕夢^{ひろむ}

20周年記念号となった『このラノ 2025』の表紙を飾りました！2021年版から2年連続1位を獲得し（デビュー作としては史上初！）、2023年版で「殿堂入り」を果たした作品です（未アニメ化作品としては史上初！）。ついにアニメ化も決定しました！このラノベの何が画期的だったかというと、主人公が学内トップカーストに君臨するイケメンリア充であること。ラノベの主人公と言えば、ぼっちの陰キャラがお約束だというのに。＜マケイン＞の温水クンとはとっても対照的で笑えます。「こんなにイケメンな上にさりげなくオシャレで、運動神経抜群で、成績も上位で、コミュ力高くてみんなに優しく、おまけにリーダーシップもあって、下ネタからウィットに富んだ会話までさらりとこなす俺の、いったいどこにカチンとくる要素が？」「気づいていないなら教えてあげるけど、おもにそういうところじゃないかな？」彼の周りには、外見も中身も優れた友人たちがいつも集まっている。ところが、去年と同じく満場一致ででクラス委員長に選ばれたところ、担任の教師から同じクラスに一人いる引きこもりの生徒を説得して、登校させるよう任せられる。「頼られた以上は、誰よりも完璧に、美しく、相手の想像を超える水準で期待に応える」彼は、引き受けることにするが…。

『そういうゲーム』 ヨシタケシンスケ

「そういうゲームだと思ってしまえばいいんじゃない！」初の全編モノクロの大人向けの絵本。「自分を傷つける人から どこまでとおくにいけるか。そこそこ いごこちのいいばしょを みつけることが つくることができるかどうか」。「つらいとき、想像力だけを使って 手のひらに小さな人が見えるようになるかどうか。その人とたのしくおしゃべりできるようになるかどうか」。「世の中のみにくいぶぶん、きたないぶぶんを 見ないままでどこまで大きくなれるのか」。「自分が『正解』の側に いないことのさみしさに、かわいい服を着せてあげられたら 勝ち」。「大失敗しても、しにそうなめにあっても、あらゆるものが こわれてしまっても、大好きな人がいなくなっても、ひとりぼっちでも、自分がきらいでも、意外とどうにかなる」。「しんどいきもちを どうにかまぎらわせて 意味とか理由とか考えずに いやなことを思い出さないようにしながら 明日の朝まで ふとんの中で息をしていれば 勝ち」。「生きている間に、自分にピッタリの石を 見つけることができたなら 勝ち」。そういうゲーム。

『スピノザの診療室』 夏川草介

「たとえ病が治らなくても、仮に残された時間が短くても、人は幸せに過ごすことができる。できるはずだ」。**『神様のカルテ』**の著者が確実にネクスト・フェイズへと移行した感動作が、京都を舞台にした傑作に与えられる京都本大賞を受賞！ 本屋大賞も4位で、映画化も決定しています！「マチ先生」とみんなから親しまれる雄町哲郎は、京都の町中にある小さな地域の病院で働く内科医だ。実はマチ先生は、「町の病院」に収まるような器ではない。かつては大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を嘱望されていた凄腕の医師だったのである。ところが、三十代の後半に差し掛かろうとしたころ、最愛の妹が若くしてこの世を去り、残されて天涯孤独の身となった甥の龍之介とともに暮らすために、ここに新たな勤め先を求めたのだった。指導医として若手医師をまとめる位置にいた彼の退局は許されるものではなかった。タイトルにあるスピノザは、人間はとても無力な生きもので、人間の意志では何も変えられない。だが、“だからこそ” 努力が必要だと説いた哲学者です。マチ先生も医療にたいした期待も希望も持っていないけれど、世界にはどうにもならないことが山のようにあふれているけれど、それでもできることはあるんだと信じています。命を看取るとき彼は「これで良かったのか」と考えないようにしているのだそうです。ただ言えることは一つだけ、「本当にお疲れ様でした」。

『ひまわり』 しんかわ ほ たて 新川帆立

総合商社で世界中を飛び回っていた 33 歳のひまりは、出張帰りに交通事故に遭い、頸髄を損傷してしまう。意識ははっきりしているのに、身体はほとんど動かない。肩から下の感覚がなくなってしまったのだ。どんなにリハビリをがんばっても、ある一定以上はよくはならない。完全に元には戻らない。でも、ひまりは過酷なリハビリも乗り越え、車椅子で移動できるようになっていく。会社にもこのまま復職できるものだと思っていたが、「復職は約束できない。できれば、退職してほしい」というのが、会社側の態度だった。役所で就労支援の相談をしても、生活保護の申請を勧められてしまう。「私は、人の役に立てるのに、どうして力を発揮させてもらえないの？」絶望するひまりを奮い立たせたのは、幼なじみの「お前、司法試験を受けて弁護士になれよ」という言葉だった。ひまりは奮起し、自立を目指し、ロースクールに通って司法試験を受験することを決意する。鉛筆も握れず、六法全書も開けない。言葉のみが味方。「言葉は私の最後の砦。言葉がある限り、私たちはつながれる」。

『涼宮ハルヒの劇場』 谷川 流

君はハルヒを知っているか？ あのえなこがコスプレデビューした作品だと言え、いちばんわかりやすいのではないのでしょうか。あ、イラストを描いている**いとうのいち**さんは、**知念実希人**さんの**<天久鷹央>**シリーズのひとつです！ これでつながりましたか？ 4年ぶりの新刊です！ とは言っても、前巻が出たのはアニメ化から14年、その前の巻が出てから9年6ヶ月も経ってからで、「作者、生きていたのか!？」と驚かれていたので、4年なんて可愛いものです。今作はハルヒとSOS団がさまざまな世界を冒険する物語です。ハルヒと仲間たちが元気でいてくればそれでいいというファンも多いのではないのでしょうか。

◎『**変な家**』が行方不明です！ 借りている人は、至急返却してください！

◎「しおりコンテスト」のしおりができあがりました！
大好評配布中！ ほしい人は、図書館のカウンターまで！

☆<ハルヒ>はラノベのスタンダードをつくった革命的な作品です。いま読んでもおもしろいと思うので、ぜひ第1巻の『憂鬱』から読んでみてください！ では、図書館で。